

村外から移住した地域おこし協力隊が、
檜原村の魅力を協力隊目線ですくい上げ
てお届けします。記事にしてほしい内容
のリクエストも随時受付中です。



3月末に檜原村地域おこし協力隊を卒業しました。私はもともと檜原村が好きで、よく村に観光に来ていましたが、その際は借りる家がなく、移住を半分あきらめていました。しかし、協力隊の先輩に出会って協力隊の制度を知り、採用していただいたことで檜原村に移住することができました。

協力隊着任後は、空き家移住定住担当として活動させていただきました。移住希望者は多いのに対し、賃貸・売買として市場に出る物件が少ない為、移住に繋がらないことが多々あり、もどかしい思いもしました。特に、私と同世代の方は売買ではなく、賃貸物件を希望される方が多いです。しかし、賃貸物件は2年に1件程度しか出ない為、若い人はなかなか移

住できない状態でした。一方、私の檜原村ライフは想像以上に楽しい生活になりました。村の方とお話したり、おすそ分けを頂いたり。目があれば声をかけてくれる村の方々に、居心地の良さを感じていました。賃貸物件が少ない中、同世代の方にも私が味わったような居心地の良い村の生活を体験して欲しい。いつしかそう思うようになり、1件の家に複数の人が賃貸で住める



高橋春香、協力隊卒業しました！

入居者はみんな檜原村の
新米の子どもという意味
も込めて【ひのはらっこ】
にしました。



ひのはらっこ
↑シェアハウス用
ホームページ

るシェアハウスの計画を立てることにしました。沢山の協力を得て徐々に形になり、4月から女性限定のシェアハウスをオープンできることになりました。場所は私が協力隊当初に住んでいた人里地域。そんなゆかりの地でシェアハウスをオープンできることがうれしく、人里地域の方には感謝の気持ちでいっぱいです。シェアハウスの名前は



楽しく活動を
させていただきました♪
ありがとうございました！

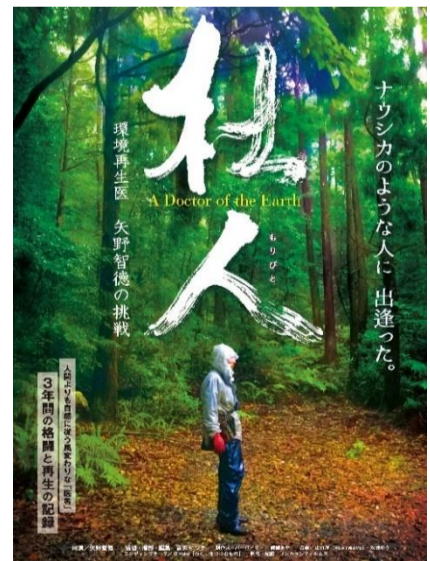
女性限定シェアハウスの運営を行いつつ、今後はやすらぎの里の会計年度任用職員として働きます。将来的に、人里地域だけでなく、村内各地でシェアハウスのオープンを目指しています。私が檜原村を好きになったように、村の人とふれあい、檜原村が大好きな若い女性を村内にたくさん増やしていきたいと思っています。



当日の会場内の様子

協力隊の高野です。先月4日に、村に移住してきて初めてのイベント企画を行いました。イベントの内容は、旧藤倉小学校校舎での映画の上映会です。

味のある方々の間で話題になっていった作品だったこと、檜原村でも矢野さんの提唱する環境再生手法「大地の再生」が少しずつ実践されていることから、今回、同作を上映作品に選びました。



当日は、午前の部と午後の部の計2回、映画を上映し、村内外から約40名の方にお越しいただきました。上映後、参加者の方々がそれぞれから感想を発表してもらったコーナーでは、「血液の流れと呼吸が止まると人間は死んでしまうが、大地も同様に、水と空気の循環が失われると生命力を失ってしまう。大地も人間と同じように生きているんだと分かった」といった声

会も実施。天気にも恵まれ、青空の下、檜原村の山々をバックに美しい音色を堪能しました。

上映した作品は、「もりびと 杜人」環境再生医・矢野智徳の挑戦」。造園家・環境再生医として30年以上のキャリアを持つ矢野智徳さんに3年間密着し、人間が地形を不自然に変えることで傷んでしまった大地を、地中の空気と水の流れを改善することによって再生していく姿を映し出したドキュメンタリー作品です。私の身の回りの、自然環境に興

味のある方々の間で話題になっていった作品だったこと、檜原村でも矢野さんの提唱する環境再生手法「大地の再生」が少しずつ実践されていることから、今回、同作を上映作品に選びました。

運営側だった私は最初から最後までハラハラドキドキでしたが、当日は参加者の皆さんの笑顔を見ることができてホッとしました。今後も様々なイベントを開催し、多くの人に檜原村を訪れてもらう機会を作っていきたいと思えます！（高野）



演奏会の様子

EVENT
旧藤倉小学校校舎で
映画上映会を開催しました



空き家の相談受付中
空き家ありませんか？

檜原村役場むらづくり推進係まで！
☎042-519-9556

初年度を終えて

高野、友澤が協力隊に加わってから9カ月が経ちました。この間、檜原村を知るために、様々な場所へ行かせていただき、体験をきっかけに多くの方々との関係を紡ぎ始めることができました。その日々は、五感で感じる新感覚であふれ、充実した時間を過ごすことができました。それも村の方々がいつも快く迎え入れてくれ、様々なことを教えてくれるからだと感じています。とはいえまだまだ知識も関係も途上なので新年度からも宜しく願います！

新たな仲間

新年度より高橋隊員に代わり、1名の新隊員が加わり新体制になります。次号で紹介いたします。

活動風景紹介

今回は8期隊員が加わってから協力隊メンバーがそろって行った活動を中心に写真でご紹介します。(友澤)

協力隊初年度を終えて…



ひのほら SDGs

第5回 美味しく食べきり食品ロス削減

西多摩産の食材を使ったエシカルレシピ



今回は2月に参加した西多摩地域市町村共催消費生活講座について紹介します。

「美味しく食べきり食品ロス削減～西多摩産の食材を使ったエシカルレシピ～」というテーマで、料理研究家として全国で活動する行長万里さんの講演です。

エシカル→倫理的な

日常の行動で、皆が出来る社会への貢献を表す言葉として使用されています。以下は代表的な消費行動です。
 ・地産地消(地元で生産、地元で消費)
 ・食品ロス削減(食品の廃棄を減らす)
 ・フェアトレード(生産者の持続可能性を支える対等な売買)

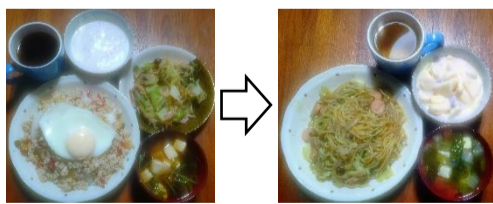
国内の食品ロスは、減少傾向にあるといわれています。しかし年間522万トン、1人当たり1日113g(ごはん軽めに1杯)を廃棄し

ている計算になるそうです。

削減に大切なのは以下の4点を減らすこと。①買いすぎ ②作りすぎ ③切りすぎ ④食べ残し。

講演では、きのこや野菜の食材の保存方法、根菜の皮で作るきんぴら、余った肉じゃがから作るコロッケ等のリメイクレシピが紹介されました。

アイデア次第で可能性が広がるエシカルレシピ。個々の生活と地域社会がつながる持続可能な暮らしは、私たちに身近な食生活から取り組めることを学びました。(齊藤)



野菜炒めから焼きそばへ、リメイクレシピにチャレンジしました♪

払沢の滝冬まつり

令和4年度、払沢の滝冬まつりが終了しました。今回は、①氷瀑クイズ(1月5日～2月20日)、②氷のオブジェ、③冬の見どころや店舗の情報を掲載した「Winter Map」以上の3本立ての実施となりました。協力隊メンバーも実行委員会の一員として、結氷率の確認やMapに掲載する情報の収集などを行いました。

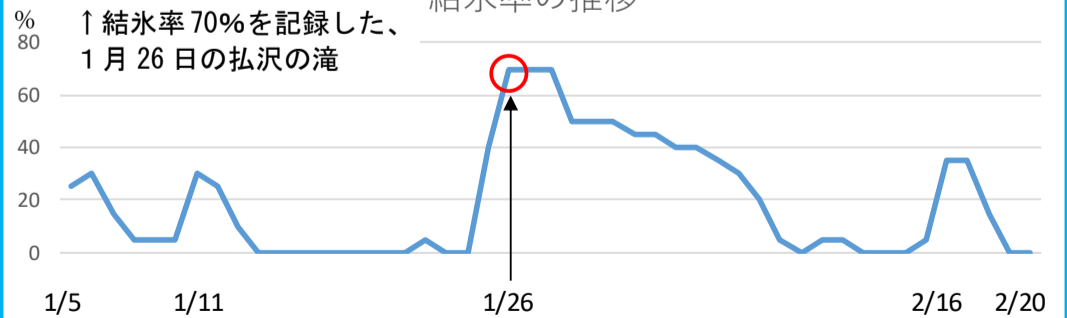
この冬は、1月上旬から中旬は温かい日が多く、凍結しない日が続きましたが、1月下旬に入り、本格的に冷え込みました。今回の最大結氷率の初日は結氷率70%を記録した、1月26日(木)でした。

チ型のオブジェは、カーテンのように凍り、見る人を楽しませていました。Winter Mapの作成にあたり、情報提供してくださった皆さん、マップのデザインを担当してくださったデザイナーさん、ありがとうございました！

季節は冬から春へ。新緑の綺麗な払沢の滝も是非訪れておきたいですね。(齊藤)



結氷率の推移



地域おこし協力隊へのご依頼は
 檜原村役場 むらづくり推進係へ
 ☎042-519-9556



今回で私がSPONの執筆をするのは最後になりました。早く取材を受けてくださった皆さん、いつもご覧になってくださる皆さん、本当にありがとうございます。今後は私も一読者として村の情報や協力隊の活動が紹介されるSPONを楽しみにしています！(高橋)

編集後記

地域おこし協力隊メンバー



写真左から
 ともさわ友澤 たか野 齊藤
 ゆき紀 勇 優 海 隼 人と集

村内で見かけたら、お声かけください♪